



▲“炎の人ゴッホ小伝”公演される

劇団銅鑼(どうら)の「炎の人、ゴッホ小伝」が先月18日、文化会館で公演されました。“ひまわり”“アルルのはね橋”で知られる画家ゴッホの半生を、秋田市出身で同劇団主宰者の森幹太氏が熱演。日ごろ演劇に接することの少ない市民にとって、生の舞台の迫力は強烈で、およそ600人の観客も最後まで固唾を飲んで劇中世界にひたっていました。



▶へらぶな釣り大会

第2回市民へらぶな釣り大会(大館へらぶな釣り研究会主催)が、先月12日塞神の手代沼で行われました。大会には約140人が参加して行われ、ジュニアの部では総重量2.5kgを釣った波鳴修君が、一般の部では1.56kgを釣った鈴木修作さんが優勝しました。

フォトニュース

こんにちは保健婦です

予防接種の知識

はしか

はしかは、だれもが一度はかかる病気のため、軽く見られる傾向にあります。しかし、肺炎や脳炎を併発することが多く、毎年五十人もの乳幼児がはしかで死亡しているのです。はしかがらいと侮らず、ぜひ予防接種を受けさせましょう。はしかの予防接種は、一歳から六歳までの間なるべくなら一歳半から三歳までに受けるようにしたいもの。接種は皮下注射を一回だけで、接種すると九八%以上の人に免疫ができてきます。一度免疫ができると、一生かかる心配はないと考えてよいでしょう。はしかの予防接種を受けると熱が出ることもあります。七日〜十日くらい三〇%の子供が三十七・五度の熱を出し、それに伴って軽い発じんの出る場合もあります。

いずれも二、三日で回復し、本当のはしかのように目やに、鼻水、せきなどの症状はできません。他の人に移す心配もありません。しかし回復するまでは激しい運動や外出、入浴は避けてください。慢性的な病気のある子供は、はしかにかかるとその病気が重くなる可能性があります。予防接種を受けていれば、はしかにかかっても軽くすんだり、何の症状もなくすむわけですから、主治医と相談のうえ積極的に受けるようにしてください。ただし、けいれんを起こしやすい子供は、接種を受ける時期などに注意が必要です。なお、予防接種は年間を通じ、いつでもできますが、盛夏及び流行期は避けた方が望ましいでしょう。



第5回全日本ローラースキー大館大会

第3回全日本サマージャンプ兼コンバインド大会

～市民の皆さんのご声援を～

7月24、25日長根山運動公園でサマースキー大館大会が行われます。今大会には国内の一流級選手が来館し、華麗なアーチや力走を披露してくれます。市民の皆さんの力強いご声援をお願いします。

◆競技種目・ジャンプスペシャル、コンバインド(複合)、クロスカントリー

◆日 程・7月23日(土)

午後3時・ジャンプ公開練習(長根山ジャンツェ)

・7月24日(日)

午前9時30分・開会式(陸上競技場前)

午前10時30分・ジャンプ競技開始(長根山ジャンツェ)

午後3時・ローラースキー公開練習

・7月25日(月)

午後0時・ローラースキー競技開始(陸上競技場前スタート)

→墓地公園→鳳鳴高校わき→陸上競技場前ゴール



国民年金だより

保険料の免除

国民年金では、所得が少なかり、地震などの災害により保険料を納めることが困難な場合、保険料が免除されます。

水害・火災などの災害で住宅や家財に損害を被った場合、特別に免除される規定があります。保険料を納められないからといって、そのまましておきますと年金を受けられない場合もありますので、早めに相談し、手続きをしてください。

免除には、生活扶助や国民年金の障害年金を受けている方を対象にした「法定免除」と、所得がなかったり、医療扶助を受けている方など、生活が苦しくて保険料を納められない方々を対象にした「申請免除」の二通りがあります。

ただし、任意加入者は免除されません。詳しくは保険年金課年金係へ

特に、申請免除には、地震・風

☎49-3111・内線239